

「県北のプロフェッショナルにインタビュー」
津山信用金庫理事長に聴く

地域の方々と共に成長してきた。

世の中何が起ころかわからないから
危機管理をしていないといけません！



イコール株式会社
代表 池田 誠

プロフィール
勝山高校卒業後、大阪の旅行社へ就職。数年後旅行社創業。…現在に至る。奥津温泉や湯原温泉を中心に、ホテル旅館業、旅行業、旅館の再生事業をしている。また、平成25年よりおかやま観光大使として、岡山県の観光を多くの人に広める活動もしている。

津山信用金庫
理事長 松岡 裕司

プロフィール
1950年10月14日生まれ。旧久米郡旭町出身。1973年に全国信用金庫連合会(現信金中央金庫)に入り、NY支店長、常務理事などを務め、2007年にしんきん証券社長に就任。2011年6月に津山信用金庫理事長として42年ぶりに帰郷。昨年の11月から津山商工会議所の副会頭にも就任し、地域貢献活動に力を入れている。

理事長のご出身はどちらですか？
旧久米郡旭町の出身です。中学1年生までは旭中学校へ通っていたんですが、姉が津山の学校に通っていたので、ついでに自分もという流れで、途中から、津山の北中学校へ行き出しました。そして津山高校へ進学して下宿生活をしていました。

高校生活はいかがでしたか？
学校生活も下宿生活も楽しかったですね。部活は弓道部に入学して、「心技体」についてしっかり教えてもらいました。練習前の長い正座だけは足が痺れてすごく嫌でしたが、部活は楽しかったです。試合前の練習はいつも調子が良くて選抜選手になるんですけど、実際の試合ではいつもダメだったのを覚えています。本番に弱いタイプだったんですかね(笑)。

高校卒業後は？
京都の同志社大学に進学しました。70年安保の前の年になります。入学して2ヶ月くらいは普通に大学に通っていたんですが、学生運動が激しくなり学校が閉鎖されて通えなくなりました。学生が釘を刺した角棒を振り回すし、大きな石を投げ

をしているんです。アメリカでは見るもの聞くものすべてが勉強になりました。よく私は「ブラックスワン」という言葉を使うんですが、これは「あり得ないことにはあり得ない」という代名詞なんです。世の中何が起ころかわからないですし、それに備えて危機管理をしていないといけません。強く感じました。

津山信用金庫の理事長として取り組んだことは？
2011年6月に、津山信用金庫の理事長として、42年ぶりに地元へ帰ってきたわけですが、その夏は特にカミナリが多かったです。カミナリで停電してATMが止まったりしていました。すぐに復旧してはいたんですが、長い時間停電になった時、どのくらいもつのか不安になり職員に確認したら40分くらいと言われたんです。それではダメだと思ひ、すぐに屋上に非常用電源を導入し、何かあったときでも対処できるようにしました。

今後のビジョンなどありましたら教えてください。
信用金庫を桜の木に例えるなら、花ではなく樹木だと思っんです。年によって成長度は違いますが、確実に少しずつでも成長していく年輪のようなものだと思います。芯は絶対におれません。地域の人たちと一緒に成長していきたいと願っています。また、去年から津山商工会議所の副会頭になりました。地方



インタビュー
【シリウスグループ】
イコール株式会社 代表 池田 誠

津山信用金庫
まつおか ゆづり
理事長 松岡 裕司

米屋倶楽部奥津は、県北で頑張っている人を応援しています。



TEL:0868-52-0016
http://www.komeyclub-okutsu.jp/

合うし、こんなことをするのは政治とびつくりしたものです。政治に関心を持たない人は「ノンポリ」と呼ばれていたんですが私はその層でした。大学には2年くらいまともに行くことができず、レポートだけ提出して、アルバイトばかりしていましたね。どのようなアルバイトを経験されたんですか？
短期なものを含わせると相対的にいろいろしましたよ。パーティーから呉服屋さんまでいろいろさせてもらいました。あの頃は、長髪が流行っていて、私も肩まで髪を伸ばしていたものなんです。当時の最先端ファッションに身を包んでいて、たまに地元へ帰るとかなり目立つちゃいましたね(笑)。



大学卒業後は？
信用金庫の中央機関に就職しました。当時は全国信用金庫連合会という名称でしたが、どんな組織かわかりづらいとい

うことで、信金中央金庫と名前が変わりました。広島支店に5年、その後は東京に転勤して、すぐに当時の東京銀行に1年間出向しました。そこは外国為替専門の銀行だったんですが、信用金庫業界はそれまで外国為替を扱っていませんでした。そこで学んで帰ってきて、その後信用金庫法というのがあったんです。法律改正して外国為替を取り扱えるようになりました。30歳の時です。

ニューヨーク支店の勤務で取り組んだことや学んだことはありますか？
私が支店長として行ったのは1993年の6月でしたが、その年の2月26日に、世界貿易センターの地下2階で爆破事件があったんです。そんな事件があっただけでも恐ろしいんですが、私が行ったから、下の階で2回ばや騒ぎがあり、煙が上がってきたことがあります。3年そこで働いて日本へ帰るときに、このビルは何かあったときに危ないからと移転申請を提出して、当時の理事長を説得しました。2001年のアメリカ同時多発テロの時、すでに違うビルに移転していたので被害なく済みました。あの時、危機管理を怠っていたらと思うと背筋が凍ります。ニューヨークでは、米連邦準備制度理事会(FRB)の検査や州銀行局による検査があるんですが、何かあった時にどう対処しようとしているかというのを見られるんです。基本、性悪説の考えで、実際犯罪も多いというのもあるんです。が、不正ができない仕組み作り

松岡理事長、お忙しい中ありがとうございました。ニューヨーク支店での話はとても勉強になる話が多く、危機管理や真つ勝負や継続力というリーダーとしてのヒントをたくさんいただきました。不確実な時代だからこそ、何が起ころかわからない。リーダーとして、脅威やリスク管理を考へての対応は、必要だなあと感じました。松岡理事長の経験を通じての話は説得力があり勉強になりました。ありがとうございました。